

# イフェクサーSR カプセル 37.5 mg イフェクサーSR カプセル 75 mg

## 【この薬は？】

販売名	イフェクサーSR カプセル 37.5 mg EFFEXOR SR CAPSULES 37.5mg	イフェクサーSR カプセル 75 mg EFFEXOR SR CAPSULES 75 mg
一般名	ベンラファキシン塩酸塩 Venlafaxine Hydrochloride	
含有量 (1 カプセル中)	ベンラファキシン塩酸塩 42.43 mg (ベンラファキシンとして 37.5 mg)	ベンラファキシン塩酸塩 84.85 mg (ベンラファキシンとして 75 mg)

## 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、SNRI（セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内に作用し、脳内の神経伝達をスムーズにし、抑うつ気分や不安を和らげます。
- ・次の病気の人に処方されます。

**うつ病・うつ状態**

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、些細な事でも心配になる、いらいらする、あせりなどの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・過去にイフェクサーSR カプセルに含まれる成分で過敏症のあった人
  - ・モノアミン酸化酵素（MAO）阻害剤を使用中、あるいは使用中止後 2 週間以内の人
  - ・肝臓に重度の障害がある人
  - ・腎臓に重度の障害がある人または透析中の人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
  - ・双極性障害の人
  - ・死にたいと強く思ったり、考えたりしたことがある人
  - ・脳に器質的な障害がある人、または統合失調症の素因のある人
  - ・衝動的な行動を起こしやすい病気にかかっている人
  - ・てんかんなどのけいれん性疾患のある人または過去にこれらの疾患と診断されたことがある人
  - ・緑内障の人または眼内圧が高い人
  - ・高血圧の人または心疾患のある人
  - ・QT 延長（心電図の波形の異常）のある人または過去に QT 延長と診断されたことがある人、著明な徐脈や低カリウム血症などのある人
  - ・出血の危険性を高める薬剤を使用している人
  - ・出血しやすい人
  - ・前立腺肥大など排尿困難のある人
  - ・腎臓に軽度から中等度の障害がある人
  - ・肝臓に軽度から中等度の障害がある人
  - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
  - ・授乳中の人
- この薬には併用してはいけない薬[モノアミン酸化酵素（MAO）阻害剤：セレギリン塩酸塩（エフピー）、ラサギリンメシル酸塩（アジレクト）、サフィナミドメシル酸塩（エクフィナ）]や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 24 歳以下で抗うつ剤を使用した場合、死んでしまいたいという気持ちを強めるという報告があります。また、この薬を使用した場合、とくに 18 歳未満の大うつ病性障害のある人で、死んでしまいたいという気持ちを強めるという報告があります。24 歳以下でこの薬を使う人は医師と十分に相談してください。
- 7～17 歳の大うつ病性障害のある人がこの薬を飲んだ場合、有効性が確認できなかったという報告があります。18 歳未満の大うつ病性障害のある人は、医師と十分に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	イフェクサーSR カプセル 37.5 mg	イフェクサーSR カプセル 75 mg
1 回量	37.5mg から開始し、1 週間後より 1 日 75 mg に増やされます。	
飲む回数	1 日 1 回食後	

- ・年齢、症状に応じて 1 日 225mg を越えない範囲で増減されます。
- ・増量は 1 週間以上の間隔をあけて、75mg ずつ行われます。
- ・肝臓に障害がある人は、飲む量と飲む回数が調節されます。

### ●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分を飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多く飲んだ場合、頻脈（胸がドキドキする）、意識レベルの変化、散瞳（まぶしい）、発作、嘔吐（吐き気）、心電図の変化、心室性頻脈（めまい、動悸、胸の不快感、気を失う）、徐脈（めまい、立ちくらみ、息切れ、脈が遅くなる、脈がとぶ、気を失う）、低血圧（脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失）、横紋筋融解症（手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる）、回転性めまい、肝臓壊死（体がだるい、吐き気、嘔吐、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる）、セロトニン症候群（急に精神的に落ち着かなくなる、体が震える、汗が出る、脈が速くなる、発熱、筋肉のこわばり、手足のぴくつき）などの症状があらわれる可能性があります。これらの症状があらわれた場合は、すぐに受診してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。この薬を飲んでいる間、特に飲みはじめや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることがあるので、このような症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- ・不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、眠れない、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、精神的に不安定になる、気分が高ぶる、行動的になり過ぎるなどの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、医師に相談してください。この薬との関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する場合や、死んでし

まいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。

- ・死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来すなどの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもともとある病気が悪化する危険性について、ご家族の方は医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡してください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方にも伝えるようにしてください。
- ・心拍数増加や血圧上昇があらわれることがあるので、脈拍数や血圧測定が行われることがあります。特に、高血圧または心疾患のある人は、これらの測定が定期的に行なわれます。
- ・眠気、めまいなどの症状があらわれることがあるため、自動車の運転などの危険を伴う機械を操作する時は、十分に注意してください。また、これらの症状を自覚した場合は自動車の運転などの危険を伴う機械を操作しないでください。
- ・この薬は、使用を突然中止したり、量を減らした場合に、攻撃的になる、気分が高ぶる、不安になる、感情が激しくたかぶる、神経過敏になる、意識が乱れる、睡眠障害（眠りが浅いなど）、疲労、ぼんやりする、感覚の異常、めまい、けいれん、頭痛、風邪のような症状、耳鳴、思ったとおりに動かない、ふるえる、汗をかく、口の乾き、食欲が減る、下痢、悪心、嘔吐（吐き気）、視覚障害（文字や形が見えにくい、視野の異常）などの症状があらわれることがあるので、医師の指示どおりに使用してください。
- ・血液中のコレステロール値が上昇することがありますので、この薬を長期間飲む場合はコレステロール値が検査されることがあります。
- ・アルコール飲料、セイヨウオトギリソウを含有する食品はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。







重大な副作用	主な自覚症状
セロトニン症候群 セロトニンしょうこうぐん	急に精神的に落ち着かなくなる、体が震える、汗が出る、脈が速くなる、発熱、筋肉のこわばり、手足のびくつき
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	高熱、汗をかく、ぼーっとする、手足のふるえ、体のこわばり、話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、脈が速くなる、呼吸数が増える、血圧が上昇する

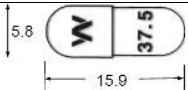
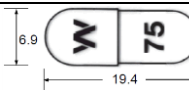
重大な副作用	主な自覚症状
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 (SIADH) こうりによホルモンふてきごう ぶんびつしょうこうぐん(エスアイ エイディーエイチ)	けいれん、意識の低下、意識の消失、吐き気、食欲不振
QT 延長 (心電図の波形の異常) キューティーえんちよう	めまい、動悸、気を失う
心室頻拍 (トルサード ド ポアントを含む) しんしつひんぱく	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う
心室細動 しんしつさいどう	気を失う
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆう かいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群 (ス ティーブンス・ジョン ソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス・ジョンソンし ょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節や喉の痛み
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
無顆粒球症 むかりゆうきゆうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、体がだるい、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい、発熱、寒気、喉の痛み
汎血球減少症 はんけつきゆうげんしょうしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
好中球数減少 こうちゆうきゆうすうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板数減少 けっしょうばんすうげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
間質性肺疾患 かんしつせいはいしっかん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
高血圧クリーゼ こうけつあつクリーゼ	頭痛、肩こり、めまい、目のかすみ、意識の低下、意識の消失、吐き気、鼻出血
尿閉 にょうへい	尿が出にくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体が震える、汗が出る、発熱、高熱、汗をかく、体のこわばり、けいれん、顔や手足の筋肉がぴくつく、ふらつき、脱力感、突然の高熱、寒気、体がだるい、出血が止まりにくい、出血しやすい
頭部	急に精神的に落ち着かなくなる、ぼーっとする、意識の低下、意識の消失、めまい、気を失う、一時的にぼーっとする、頭痛
顔面	鼻血、鼻出血
眼	目の充血やただれ、目のかすみ
耳	耳鳴り
口や喉	話しづらい、よだれが出る、飲み込みにくい、吐き気、喉のかゆみ、唇や口内のただれ、喉の痛み、歯ぐきの出血、咳
胸部	呼吸数が増える、動悸、胸の不快感、息苦しい、息切れ
腹部	食欲不振
手・足	脈が速くなる、手足のぴくつき、手足のふるえ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、関節や喉の痛み、手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、あおあざができる
筋肉	筋肉のこわばり、筋肉の痛み、肩こり
尿	尿が赤褐色になる、尿が出にくい
その他	血圧が上昇する

## 【この薬の形は？】

販売名	イフェクサーSR カプセル 37.5 mg	イフェクサーSR カプセル 75 mg
PTP シート	  表面   裏面	 表面  裏面

販売名	イフェクサーSR カプセル 37.5 mg	イフェクサーSR カプセル 75 mg
外形 (mm)		
色	キャップ：淡灰色 ボディ：淡紅色	キャップ：淡紅色 ボディ：淡紅色
剤形	硬カプセル 徐放カプセル	硬カプセル 徐放カプセル
識別コード	W37.5	W75

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	イフェクサーSR カプセル 37.5 mg	イフェクサーSR カプセル 75 mg
有効成分	ベンラファキシン塩酸塩	
添加剤	結晶セルロース、ヒプロメ ロース、エチルセルロース (カプセル本体) ゼラチン、酸化チタン、三 二酸化鉄、黄色三二酸化 鉄、黒酸化鉄	結晶セルロース、ヒプロメ ロース、エチルセルロース (カプセル本体) ゼラチン、酸化チタン、三 二酸化鉄、黄色三二酸化鉄

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ヴィアトリス製薬株式会社

メディカルインフォメーション部

フリーダイヤル 0120-419-043

受付時間：月～金 9時～17時30分

（土日祝および当社休業日を除く）